

平成24年度

# 事業報告書

自 平成24年4月 1日

至 平成25年3月31日

公益財団法人 根津美術館

東京都港区南青山6丁目5番1号

## 目次

I 公益事業.....	3
【事業の趣旨】 .....	3
【施設の概要】 .....	3
【事業の概要】 .....	3
1. 展示活動.....	3
(1) 特別展・コレクション展.....	3
(2) 日本庭園 .....	5
(3) ミュージアムショップ .....	5
(4) 喫茶店.....	5
2. 美術品の収集、保管及び修復 .....	5
(1) 美術品の購入.....	5
(2) 美術品の保管・修復.....	5
(3) 美術品の寄贈受入.....	6
3. 調査研究.....	6
(1) 調査・研究.....	6
(2) データベース .....	7
(3) 研究資料の整備 .....	7
(4) 学術プロジェクトへの参加 .....	7
(5) 美術品の閲覧.....	7
4. 教育普及.....	10
(1) 催事.....	10
(2) インターネットによる広報 .....	11
(3) プレスリリース .....	11
(4) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット .....	11
(5) 内覧会・レセプション .....	12
(6) 施設案内パンフレット .....	12
(8) 地域との連携.....	12
(9) 有料広告 .....	13
(10) 根津倶楽部.....	13
(11) NEZUNET .....	13
(12) 青山茶会.....	13
(13) 美術品の館外貸出.....	14
(14) 画像の貸出.....	15
(15) 施設の貸与.....	15

II	収益事業.....	16
	【事業の概要】 .....	16
	1. 不動産事業.....	16
III	庶務の概要.....	17
	1. 役員.....	17
	2. 職員.....	19
	3. 役員会 .....	20
	(1) 理事会.....	20
	(2) 評議員会 .....	21

# I 公益事業

## 【事業の趣旨】

昭和 15 年(1940) 11 月、初代根津嘉一郎(1860~1940)の遺志により財団法人を設立、翌年 10 月に開館した根津美術館は、美術品の展示及び教育・普及活動を行うことにより、多くの人々が日本・東洋古美術を鑑賞し、芸術・文化に関する理解を深めることを目的とした諸事業を展開している。

今年度もその理念に基づき、特別展 3 回(前年度からの「虎屋のお雛様」7 日間を含む)と収蔵美術品によるコレクション展 5 回を開催し、展覧会に関連した講演会、会員向けプログラム、施設を利用した催事などを実施した。

所蔵美術品の調査研究を行い、その成果を館内外での発表や紀要や図録等の刊行物により公表し、館外の学術研究及び教育普及活動への協力などを行った。また、継続的な収集活動によってコレクションの充実を図り、修復などによる美術品の維持・管理に努めた。

前年に発生した東日本大震災後の状況を鑑み、1 年延期した特別展「KORIN 展 国宝〈燕子花図〉とメトロポリタン美術館所蔵〈八橋図〉」をはじめとする展覧会の開催により、本年度の年間来館者数の目標とした 180,000 名に対し、112%にあたる 201,835 名の来館者を得た。

また、平成 24 年 4 月 1 日付で公益財団法人への移行登記を行い、内閣府所管の公益財団法人への移行手続きを完了した。

## 【施設の概要】

平成 21 年 10 月に新創開館した本館は地上 2 階(展示室 1~6 など)、地下 1 階(講堂など)。平成 2 年に建設した展示施設を同 19 年に収蔵庫と事務室に改装した事務棟は地上 2 階、地下 1 階からなる。日本庭園には、薬師堂および茶室 4 棟があり、各所に石造物約 150 件が据えられている。

平成 24 年 1 月にハクビシンの本館天井裏への侵入が判明し、その捕獲、及び侵入ルートの調査を行い、平成 25 年 3 月に、特定した侵入箇所の閉塞工事を実施することにより、被害はなくなった。

災害行動マニュアルや防犯設備の整備、防災訓練および消防訓練を実施し、防災体制の充実に努めた。

## 【事業の概要】

### 1. 展示活動

#### (1) 特別展・コレクション展

美術館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時までとし、月曜日と展示替期間及び年末年始を除く毎日開館した。なお、「KORIN 展 国宝〈燕子花図〉とメトロポリタン美術館所蔵〈八橋図〉」会期中の 4 月 28 日(土)より 5 月 20 日(日)までの開催日 21 日間は、午後 6 時まで開館時間を延長した。

入館料は、原則として特別展の場合一般 1,200 円、学生 1,000 円、コレクション展では一般 1,000 円、学生 800 円とし、いずれも中学生以下は無料とした。20 名以上の団体、障害者手帳提示者と同伴 1 名及び運転経歴証明書提示者へは 1 名につき 200 円の割引を行い、また 100 円割引料金の次回展の前売券を美術館内で販売した。

平成 24 年度は、1 階展示室 1(場合により展示室 2 を含む)において下記の 8 回の特別展及びコレクション展を開催し、開館日数計 239 日間に、来館者 201,835 名(うち有料来館 181,634 名)を迎えた。

特別展は当館の収蔵美術品のみならず館外から借用する美術品も含めて構成し、コレクション展は

収蔵美術品を中心に、適宜特別出品、参考出品などの作品により構成した。いずれの展覧会も、当館学芸部が企画し、担当学芸員が中心となって、作品の選定、運搬、会場構成、展示、特別展図録、関連する所蔵品図録などの作成を行った。また、鑑賞しやすさを考慮した展示に努め、国内外からの来館者が理解しやすい日本語・英語表記の展示解説を付し、日本語の音声ガイドを備えた。

・特別展「虎屋のお雛様」

会期 平成 24 年 2 月 25 日（土）～4 月 8 日（日） 当年度内の日数 7 日間

入館者 7,550 名（有料 5,957 名） （全開催日 38 日間・入館者 34,130 名）

・特別展「KORIN 展 国宝〈燕子花図〉とメトロポリタン美術館所蔵〈八橋図〉」

会期 平成 24 年 4 月 21 日（土）～5 月 20 日（日） 27 日間

入館者 69,380 名（有料 64,801 名）

・コレクション展「中世人の花の会と茶会」

会期 平成 24 年 6 月 2 日（土）～7 月 16 日（月・祝） 39 日間

入館者 21,838 名（有料 19,628 名）

・コレクション展「応挙の藤花図と近世の屏風」

会期 平成 24 年 7 月 28 日（土）～8 月 26 日（日） 26 日間

入館者 13,151 名（有料 11,187 名）

・コレクション展「平家物語画帖 ―諸行無常のミニアチュールー」

会期 平成 24 年 9 月 8 日（土）～10 月 21 日（日） 38 日間

入館者 18,680 名（有料 16,370 名）

・特別展「ZESHIN 柴田是真の漆工・漆絵・絵画」

会期 平成 24 年 11 月 1 日（木）～12 月 16 日（日） 40 日間

入館者 35,534 名（有料 32,189 名）

・コレクション展「新春の国宝 那智瀧図 ―仏教説話画の名品とともに―」

会期 平成 25 年 1 月 9 日（水）～2 月 11 日（月・祝） 30 日間

入館者 17,650 名（有料 15,226 名）

・コレクション展「遠州・不昧の美意識 ―名物の茶道具―」

会期 平成 25 年 2 月 23 日（土）～4 月 7 日 当年度内の日数 32 日間

入館者 18,052 名（有料 16,276 名） （全開催日 38 日間・入館者 23,182 名）

また、展示室 2（書画または工芸）、展示室 5（工芸または書画）、展示室 6（茶の美術）では、展示室 1 で開催する特別展・コレクション展の内容とのバランスをはかり、それと異なるあるいは連動するジャンルやテーマに基づく展示を行った。

ホールと展示室 3 では「仏教彫刻の魅力」と題して、ガンダーラや中国の石彫、日本の木彫の名品を、また展示室 4 では世界屈指の青銅器コレクションをご覧いただく「古代中国の青銅器」を、新創開館以来、常設展示していたが、9 月 8 日（「平家物語画帖」展）より、展示室 3 の仏教彫刻作品を一部入れ替え、また展示室 4 に展示ケースを加え、新たに銅鏡の展示を始めた。

展覧会開催中、皇室や国賓等をお迎えした。

平成 24 年 5 月 1 日 常陸宮妃殿下

平成 24 年 5 月 2 日 行幸啓 天皇・皇后両陛下

平成 24 年 6 月 10 日 ベルギー皇太子妃殿下

平成 24 年 9 月 8 日 インドネシア国防省 スファアト大将

平成 24 年 12 月 5 日 高円宮妃殿下

## (2) 日本庭園

17,000 平米におよぶ日本庭園は、中央に湧水の池を配する変化に富んだ地形に喬木や灌木が茂り、池の周囲に建つ 4 棟の茶室や点在する約 150 件の石造物が風情を添える。四季に応じた自然の変化を楽しむことのできる庭園の存在は、当館の特色のひとつでもある。当年度もまた、これまでに引き続き、来館者の安全を最優先した環境の整備に心がけ、生態系の維持管理に努めた。

## (3) ミュージアムショップ

ホールに隣接するミュージアムショップでは、当館の施設や収蔵美術品、開催の展覧会に関連した商品を取り揃え、来館者の多様なニーズに合った、また知的欲求に適う商品の販売活動を展開した。

学術研究の成果に基づく図録や研究紀要などの書籍に加え、展覧会の内容を考慮した専門書・一般書籍を販売した。

出展作品の絵葉書やグリーティングカード類、また収蔵美術品をもとにデザインしたオリジナル商品は、デザイン性や適正な価格を考慮した商品を企画・制作した。さらに、委託商品を加えることで、バリエーション豊かな商品構成とし、効果的なディスプレイを工夫して、当館ならではのショップづくりを目指した。

当年度、新たに製作したオリジナル商品は 17 品目 34 種、委託商品も 16 社 136 種にのぼった。

ひきつづき、山梨市の根津記念館「ミュージアムショップ平等」に商品および出版物の販売を、また東京国立博物館などのミュージアムショップに出版物を、作品貸出先のミュージアムショップに、要請のあった絵葉書などのオリジナル商品の販売を委託した。

## (4) 喫茶店

庭園内に設置された NEZUCAFÉ は、来館者の憩いや談話のための場である。定番の商品に、季節に応じた新商品を適宜加えることでメニューに変化をつけ、魅力あるメニュー作りを行った。食品や店内環境の衛生に万全を期すとともに、落ち着いた雰囲気の中で庭園の自然を眺める空間を維持し、リピーターやファン層の獲得に努めた。

## 2. 美術品の収集、保管及び修復

### (1) 美術品の購入

美術資料として、手付菘盆 1 口、庸軒好灰匙 1 本を購入した。

### (2) 美術品の保管・修復

収蔵美術品の保管を万全にするために、以下の作業を行った。

#### (展示施設)

- ① 展示施設内の虫害に対するモニタリング調査を、年間 2 回 (5 月 11 日～6 月 13 日、10 月 2 日～11 月 6 日) に実施して、施設環境の監視を行なった。

- ② 展示ケース内の除塵防黴作業を、年間2回（5月22日～24日、12月19日～25日）に行った。
- ③ 展示ケース内の調湿剤が有効期限に達したため交換した（5月）。

(収蔵施設)

- ① 収蔵庫のカビや虫害に対するモニタリング調査を、年間2回（5月11日～6月13日、10月2日～11月6日）に実施し、収蔵環境の監視を継続した。
- ② モニタリング調査の結果をもとに、大規模清掃を2月26日～28日に実施した。
- ③ カビの害がみられた作品10件（収蔵品4件、ZESHIN展出品作品6件）について、8月28日～30日被覆燻蒸を行った。

以下の収蔵美術品の修理を実施した。

① 補助修理

重要文化財 大日如来像（平成22年度からの継続事業、終了）1幅 岡墨光堂  
 重要文化財 愛染曼荼羅（平成23年度からの継続事業、終了）1幅 岡墨光堂

② 自費修理

弘法大師行状絵巻 第2,5,8巻	3巻	半田九清堂
扇面絵画卷	1巻	半田九清堂
神護寺経	2巻	半田九清堂
観普賢経	1巻	半田九清堂
中尊寺経	1巻	半田九清堂
釜	1口	長野烈氏
砂張建水	1口	長野烈氏
春日厨子（平成25年度までの継続事業）	1基	小西美術工芸社
扇面業平蒔絵硯箱（伝 尾形光琳作）	1合	目白漆芸文化財研究所
扇面業平蒔絵硯箱（柴田是真作）	1合	目白漆芸文化財研究
刀剣手入作業	168振	本阿弥光洲氏
刀剣研磨	8振	本阿弥光洲氏

(3) 美術品の寄贈受入

卯里欣侍氏より、螺鈿楼閣人物文輪花盆 1枚 の寄贈を受けた。

3. 調査研究

(1) 調査・研究

引き続き、所蔵美術品および展覧会に関わる調査・研究を行い、新たな知見を館内での講演会や館外での学会などで発表するとともに、研究成果にもとづく研究紀要、展覧会図録および所蔵品図録を出版した。

① 紀要

『根津美術館紀要 此君 第4号 特集 春日信仰の絵画と史料』  
 平成25年3月10日発行 800部

② 展覧会図録

『KORIN展 国宝〈燕子花図〉とメトロポリタン美術館所蔵〈八橋図〉』  
 平成24年4月20日発行 10,000部

『ZESHIN 柴田是真の漆工・漆絵・絵画』

平成 24 年 11 月 1 日発行	3,000 部
二刷	1,500 部
三刷	1,000 部

③ 所蔵品図録

『平家物語画帖』	平成 24 年 9 月 8 日発行	3,000 部
鑑賞シリーズ 12『館蔵 古筆切』	平成 24 年 8 月 13 日発行	二刷 1,000 部
鑑賞シリーズ 6『根津青山の茶会』	平成 25 年 2 月 20 日発行	三刷 1,000 部

(2) データベース

平成 21 年度に基本システムが完成した当館の収蔵品データベースについて、データの入力・更新、デジタル画像の登録、ならびにシステムの改善を行った。

- ① 和文基本データに続いて、英語基本データの入力を進めた。達成度は、全体の半分程度である。新規入力とともに、英語表記の見直しに応じて順次、修正を加えている。
- ② 館発行の主要な図録における解説データの入力を完了した。展示解説も、展覧会ごとに順次追加入力している。
- ③ 展示履歴のデータ入力を継続し、また、それら展示履歴が一覧できるようにシステムの改善を行った。
- ④ ポジフィルムの高精細デジタル化は、当年度 897 枚を終了した。これにより、収蔵品の約 80%について、主要カットのフィルムがデジタル化された。

(3) 研究資料の整備

美術品の調査・研究に必要な研究図書や研究資料の購入・収集・整理を行った。

- ① 昨年度に引き続き、図書の受入や収蔵図書データベースの整備や修正を行うことで、図書管理体制の充実化を図った。既に受け入れている図書については、アルバイト 2 名を雇用し、予定通り、図書のうち大型書籍、研究紀要のデータベースへの登録・修正作業を終了し、引き続き雑誌の曝書・登録・データ修正を行った。
- ② 本年度に刊行した図録および紀要を、国内 236、海外 108 機関に贈呈し、また美術館・博物館など 226 の研究機関より学術刊行物を受贈した。
- ③ 展覧会の開催や当館所蔵品の研究のため、255 冊の研究図書を購入した。

(4) 学術プロジェクトへの参加

館外の研究・教育機関が行う各種学術プロジェクトに参加し、国内外の研究者や研究機関とその成果を共有した。

文部科学省および各教育委員会の要請により、当館学芸員が、美術品の指定、保存、国家補償および国際会議の企画などに関わる会議に参画した。

また、独立行政法人および公私立の博物館・美術館の要請により、当館学芸員が、美術品の購入・修理、館の運営などに関わる会議に委員として参画した。

(5) 美術品の閲覧

収蔵美術品の閲覧申請を受け、研究の目的や学術的成果が期待でき、且つ作品が安全な状態であることを確認のうえ、以下 25 件の研究に協力した。



閲覧日	閲覧者	所属	閲覧作品
[平成 24 年]			
5 月 23 日	内山 肇 吉野二三泰 池田大祐	ウィズ・ハウス・ウチヤマ グレイマター 同上	十二支鏡
5 月 25 日	室瀬和美 永田智世 室瀬智弥	目白漆芸研究所 同上 同上	業平蒔絵硯箱 業平蒔絵硯箱写 夕顔蒔絵板戸
6 月 6 日	鄭 于澤	韓国・東国大学校	重文 阿弥陀如来坐像 阿弥陀如来立像 地藏曼荼羅
6 月 17 日	矢野 環 宮武慶之	同志社大学 同上	重文 宗峰妙墨蹟法語 宗峰妙墨蹟消息 宗峰妙墨蹟法語 宗峰妙墨蹟字号
6 月 22 日	新垣 力	筑波大学	陶片 65 点
7 月 31 日	藤原 隆	出雲文化伝承館	出雲焼茶碗 銘 小舟 出雲焼水指 出雲焼南蛮写水指
8 月 1 日	古川攝一	大和文華館	重文 十二因縁絵巻 重美 毘沙門天図像 大元帥明王・四天王図像
8 月 7 日	朴 銀卿 金 正善 安 政誅 張 姫源 陳 正虎 柳 尚秀	韓国・東亜大学校 同上 同上 同上 同上 同上	重文 阿弥陀如来坐像 阿弥陀三尊像 2 件 阿弥陀八大菩薩像 地藏菩薩像 釈迦三尊十六羅漢像 地藏六光菩薩像 阿弥陀如来像
9 月 1 日	安田篤生 ベアトリス・ヘーラ	愛知教育大学 京都大学	重文 嵯峨山蒔絵硯箱 重文 春日山蒔絵硯箱
9 月 22 日	梶山博史	兵庫陶芸美術館	草花文煎茶碗 丹波飴釉手桶水指
10 月 5 日	Lu Pengliang Louise Cort	Bard Graduate Center Freer/Sackler, Smithsonian	青銅柑子口花生 銘 三千歳 青銅梅花雷文盤口花生 青銅七宝龍文四方花生 青銅双耳花生
10 月 18 日	田野邊道宏	前日本美術刀剣保存協会	太刀 銘 来国俊
11 月 9 日	高岸 輝 阿部美香	東京大学 昭和女子大学	融通念仏縁起
11 月 17 日	遠藤啓介	九州国立博物館	南蛮切溜花生 安南染付華唐草文茶碗 銘 童子

			安南染付蜻蛉文茶碗 蒨漆絵重箱 茗荷漆絵重箱 蝶漆絵瓢盆 漆絵絵画
11月21日	室瀬和美 永田智世	目白漆芸研究所 同上	
12月13日	若杉準治	京都国立博物館	鳥獸戯画模本
12月14日	米倉迪夫	東京文化財研究所	国宝 那智瀧図
[平成25年]			
1月11日	島尾 新 江崎ゆかり 前田志織 Aaron M.Rio Feltens Frank	学習院大学 同上 同上 コロンビア大学 同上	重文 観瀑図 重文 山水図 布袋図 富嶽図
2月10日	西本周子	元東京家政学院大学	四季草花図屏風 草花図屏風
2月27日	文 明大 金 昶均 朱 洙浣 趙 秀娟	韓国美術史研究所 同上 同上 同上	重文 阿弥陀如来像 阿弥陀三尊像 3件 阿弥陀八大菩薩像 地藏菩薩像 釈迦三尊十六羅漢像
2月28日	松尾葦江 伊藤慎吾 山本岳史 伊藤悦子 大谷貞徳 大山峻也 小林健二 石川 透 小助川元太 岩城賢太郎 辻本恭子	國學院大學 同上 同上 同上 同上 同上 国文学研究資料館 慶應義塾大学 愛媛大学 武蔵野大学 兵庫大学	平家物語画帖
3月6日	池田芙美 上野友愛	サントリー美術館 同上	山水図2件 墨絵茶箱
3月7日	野田麻美 佐々木英理子	群馬県立近代美術館 板橋区立美術館	孔子鳳凰孔雀図 芙蓉図 三夕和歌図巻 山水花鳥図屏風 纏衣文珠荷鶯葦雁図
3月15日	林 温 西木政統 佐藤 章 鯨井清隆 河合正朝	慶應義塾大学 同上 同上 早稲田大学 千葉市美術館	重文 仏涅槃図 重文 釈迦八相図 千手観音二十八部衆像

## 4. 教育普及

## (1) 催事

引き続き、各展覧会に関連した、館内外の講師による記念講演会やシンポジウム、担当学芸員によるギャラリートークを実施した。

・特別展「KORIN展 国宝〈燕子花図〉とメトロポリタン美術館所蔵〈八橋図〉」

特別講演会：4月21日（土）

元コロンビア大 村瀬実恵子氏「尾形光琳の人と作品 ―燕子花図と八橋図をめぐって―」

聴講 132名

シンポジウム「光琳画の展開と受容」：4月29日（日）

玉蟲敏子氏・中部義隆氏・仲町啓子氏・河合正朝氏・野口 剛

聴講 126名

モーニング・レクチャー：4月24日（火） 野口 剛

聴講 86名

5月1日（火） 同上

聴講 129名

イブニング・レクチャー：5月8日（火） 同上

聴講 139名

5月15日（火） 同上

聴講 96名

・コレクション展「中世人の花の会と茶会」

特別講演会：6月16日（土）

西田宏子「花会と茶の湯の道具―唐物の魅力」

聴講 142名

・コレクション展「応挙の藤花図と近世の屏風」

特別講演会：8月14日（土）

野口 剛「円山応挙と18世紀の京都画壇」

聴講 73名

・コレクション展「平家物語画帖 ―諸行無常のミニアチュールー」

特別講演会1：9月29日（土）

松原 茂「〈平家物語画帖〉を楽しむ」

聴講 94名

特別講演会2：10月6日（土）

国立能楽堂 門脇幸恵氏「『平家物語』と能」

聴講 110名

・特別展「ZESHIN 柴田是真の漆工・漆絵・絵画」

特別講演会1：11月24日（土）

漆芸家 室瀬和美氏「是真の秘めたわざ」

聴講 130名

特別講演会2：12月15日（土）

立命館大学衣笠総合研究機構 彬子女王殿下「大英博物館で生まれた日本美術史」

聴講 136名

・コレクション展「新春の国宝 那智瀧図 ―仏教説話画の名品とともに―」

講演会1：1月12日（土）

白原由起子「仏教説話画を楽しむ ―見せ、教え、論ず絵画―」

聴講 81名

講演会2：1月19日（土）

東京文化財研究所 米倉迪夫氏「那智瀧遠望 ―中世仏教説話画を手がかりとして―」

聴講 109名

- ・コレクション展「遠州・不昧の美意識 一名物の茶道具―」

講演会 1 : 3 月 16 日 (土)

野村美術館 谷 晃氏「遠州から不昧へ ―引き継がれた茶の湯の道統一」 聴講 138 名

講演会 2 : 3 月 23 日 (土)

五島美術館 名児耶明氏「遠州・不昧と定家様」 聴講 137 名

昨年度より引き続き、茶室を使ったプログラム「はじめての茶席」を本年度も秋・春季に開催し、いずれも多く参加者を得た。

- ・「はじめての茶席 ―平家物語にちなんで―」

平成 24 年 10 月 4 日 (木) 20 名×5 席 参加費 2,000 円 (学生 1,000 円) 被錦齋  
参加者 92 名

- ・「はじめての茶席 ―花を待つところ―」

平成 25 年 3 月 14 日 (木) 20 名×5 席 参加費 2,000 円 (学生 1,000 円) 被錦齋  
参加者 96 名

さらに本年度は、茶室で立花に関する講演 (抹茶付き) を行い、好評を得た。

- ・「中世人の花会と茶会」特別企画 「立花をみる会」

平成 24 年 7 月 7 日 (土) 25 名×6 回 参加費 2,000 円 弘仁亭  
池坊中央研修学院 三浦友馨氏 参加者 141 名

## (2) インターネットによる広報

引き続き、展覧会や各種の催事、施設などの情報をウェブサイト (<http://www.nezu-muse.or.jp>) で公開し、随時、情報の更新を行った。年間の閲覧回数は 758,482 アクセス (月平均 63,206 アクセス)、ユーザー数は 468,399 名 (月平均 39,033 名) に達した。この数値は前年度より 126,014 アクセス、65,623 名の増加にあたり、認知度アップへの成果が認められた。

国内外の美術愛好者や旅行者が手軽に当館の活動情報を得られるよう、利用が急増しているスマートフォンやタブレット端末向け情報提供ツールとして、平成 23 年度から開始した Web アプリ「根津美術館」(<http://www.nezu-muse.app.jp>) は、今年度の DL 数が昨年度末から約 7500 件増加した。Facebook では常用ユーザー数は昨年度末の数十名から 3 月末には 1500 名に達し、Twitter でのフォロワー数も 3 月末時点で 1,800 名を超えた。

## (3) プレスリリース

美術館や展覧会の情報を、各種メディアに告知するプレスリリースを発信し、各展覧会の開催時期に合わせた各種パブリシティの掲載、雑誌での特集記事やテレビ番組への協力を促進した。また同時に、ミュージアムショップやカフェの新商品などの告知リリースも配信し、多様なメディアに掲載されることを促し、それによる美術館・展覧会の認知度向上に引き続き努めた。国内のみならず、海外の各種メディアからの問い合わせに対して情報を提供し、ニーズに合った対応に努めた。

## (4) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット

引き続き、館外 2 か所に開催中の展覧会ポスターを掲示。館内には次回展のポスターとチラシや、年間スケジュール、根津倶楽部パンフレットを常備し、認知度アップに努めた。さらに 1 月の展覧会以降は、英語版の展示目録パンフレットの作成・配布を開始した。同様に、今年度も、各展覧会の開催時期に合わせ、近隣の商店や公共施設、文化教育施設、美術館、博物館、古美術商などに展覧

会のポスターやチラシを配布し、各展覧会の内容に即した特定団体への情報提供を行うなど、きめ細かな誘客活動を行った。

#### (5) 内覧会・レセプション

展覧会の開催日前日（年度内7回）に、各種メディア向けの記者内覧会を実施して、展覧会の担当学芸員による展示解説を行い、メディアによる宣伝活動の促進を目指した。この記者内覧会に加え、特別展2回に際しては、美術関係の招待客を対象に特別内覧会及びレセプションも実施し、業界関係者や教育者などを通じての宣伝や誘客を図った。

##### ・特別展「KORIN 展 国宝〈燕子花図〉とメトロポリタン美術館所蔵〈八橋図〉」

平成24年4月20日（金）	記者内覧会	出席者	72名
	特別内覧会		783名

##### ・コレクション展「中世人の花の会と茶会」

平成24年6月1日（金）	記者内覧会	出席者	49名
--------------	-------	-----	-----

##### ・コレクション展「応挙の藤花図と近世の屏風」

平成24年7月27日（金）	記者内覧会	出席者	47名
---------------	-------	-----	-----

##### ・コレクション展「平家物語画帖 ―諸行無常のミニアチュール―」

平成24年9月7日（金）	記者内覧会	出席者	42名
--------------	-------	-----	-----

##### ・特別展「ZESHIN 柴田是真の漆工・漆絵・絵画」

平成24年10月31日（水）	記者内覧会	出席者	50名
	特別内覧会		559名

##### ・コレクション展「新春の国宝 那智瀧図 ―仏教説話画の名品とともに―」

平成25年1月8日（火）	記者内覧会	出席者	45名
--------------	-------	-----	-----

##### ・コレクション展「遠州・不昧の美意識 ―名物の茶道具―」

平成25年2月22日（金）	記者内覧会	出席者	32名
---------------	-------	-----	-----

#### (6) 施設案内パンフレット

館内に、施設案内のパンフレット（日本語・英語・中国語・韓国語の4版）をひき続き常備した。

#### (7) 他美術館との協力

引き続き、美術館関連団体に参加することで、他美術館との情報交換を推進し、美術館業界の普及・活性化に努めた。また1月からは、美術館業界の活性化を目的として森美術館が企画・運営する「カウントアート」に参加し（現在当館を含め19館参加）、展覧会毎に招待券を提供した。これは、美術館入館者がスマートフォンの「カウントアート」サイトで抽選に参加し、当選者には他美術館の招待券やノベルティが郵送されるしくみである。

#### (8) 地域との連携

10月に開催された港区主催の「みなと区民まつり」で、記念バッジ購入者向け特典として入館料割引を実施。同じく2月に行われた港区主催「ミナコレ2012冬」イベントでは、無料バスの運行に際し、館前にバス停設営をすることで参加・協力をした。また展覧会のポスターやチラシを館員がを持参して近隣商店や団体に届けることにより、緊密な関係構築に努めた。

(9) 有料広告

「ZESHIN」展、「新春の国宝那智瀧図」展への誘客のため、初めて朝日新聞朝刊に、広告（100円割引クーポン付）を各1回ずつ掲出した。その結果、会期を通じての集客に一定の効果があったことが認められた。

(10) 根津倶楽部

「根津倶楽部」は、固定客層の獲得を目的として、2009年に開始した会員組織であり、平成24年7月28日より新たな制度に移行し、入会金3,000円、年会費8,000円で展覧会ごとの案内葉書と1名の招待券を送付し、会員証の提示で入館料無料、ミュージアムショップの1割引（一部商品を除く）の特典を提供している。旧会員のうち79名が新会員に移行し、3月末には会員数が256名まで増加した。

(11) NEZUNET

根津美術館の会員制メールマガジン「NEZUNET」（会費無料）は、新創開館以来会員数が増え続け、平成24年度は会員が758名増加し、年度末現在の会員数は3,442名となっている。また当年度は、号外をふくめて11回、メールマガジンを配信した。

(12) 青山茶会

「青山茶会」は、茶道にある程度習熟した人々を対象に、茶道美術への理解と普及、および当館のファンやリピーターを増すことを目的として、2年間10万円の会費で、各年4回の茶会と4回の講座への参加及び入館料無料の特典を提供する会員制度である。当年度平成23年度からの第二期会員179名が在籍しており、以下のプログラムを開催した。

青山茶会 第二期 一年目

[平成24年]

第一回講座 4月7日（土）

講師：学習院大学 島尾新氏「室町時代の唐物受容」 参加者 130名

第一回茶会 6月9日（土）

席主：小堀遠州流 小堀宗圓氏 参加者 183名

第二回講座 7月14日（土）

講師：京都造形芸術大学 八尾嘉男氏「わび茶成立をめぐる」 参加者 106名

第三回講座 9月15日（土）

講師：徳川美術館 佐藤豊三氏「大名の茶の湯」 参加者 111名

第二回茶会 10月20日（土）

席主：茶道有楽流 織田宗裕氏 参加者 176名

第三回茶会 12月8日（土）

席主：表千家不白流 川上宗順氏 参加者 163名

[平成25年]

第四回講座 1月26日（土）

講師：湯木美術館 谷端昭夫氏「公家の茶の湯」 参加者 94名

第四回茶会 3月9日（土）

席主：大日本茶道学会 田中仙堂氏 参加者 185名

(13) 美術品の館外貸出

以下の展覧会および茶会に収蔵美術品の館外貸出を行った。

- ・「解脱上人貞慶 鎌倉仏教の本流」展 2012年4月7日(土)～5月27日(日)  
奈良国立博物館  
重要文化財 法相曼荼羅 1幅  
重要文化財 釈迦来迎図 1幅  
重要文化財 春日補陀落山曼荼羅 1幅
- ・「酒井抱一と江戸琳派の全貌」展 2012年4月10日(土)～5月13日(日)  
細見美術館  
夏秋溪流図 鈴木其一筆 6曲1双
- ・「解脱上人貞慶 鎌倉仏教の本流」展 2012年6月8日(土)～7月29日(日)  
神奈川県立金沢文庫  
重要文化財 法相曼荼羅 1幅  
重要文化財 釈迦来迎図 1幅
- ・「龍泉窯青磁展」 2012年6月23日(土)～8月26日(日)  
山口県立萩美術館・浦上記念館  
重要文化財 青磁筒花生 銘 大内筒 1口  
重要文化財 青磁筒花生 1口  
青磁輪花鉢 1口
- ・「お伽草子 - この国は物語にあふれている」展 2012年9月19日(水)～11月4日(日)  
サントリー美術館  
賢覚草紙絵巻 2巻  
蛙草紙絵巻 伝土佐光信筆 1巻
- ・「茶会記にみる茶道具 第1回 酒井宗雅の世界展」 2012年9月29日(土)～12月2日(日)  
茶道資料館 (財団法人今日庵)  
瀬戸肩衝茶入 銘 雪柳 1口  
瀬戸二見手肩衝茶入 銘 即色 1口
- ・「徳川将軍の御成展」 2012年10月6日(土)～11月11日(日)  
徳川美術館・名古屋蓬左文庫  
青銅龍文象耳花生 1口  
青銅鳳文獅子耳花生 1口  
文琳茶入 銘 白玉 1口
- ・「清雅なる仏画 - 白描図像が生み出す美の世界 -」展 2012年10月7日(日)～11月11日(日)  
大和文華館  
重要文化財 華嚴五十五所絵 4幀  
重要文化財 十二因縁絵巻 1巻  
重要美術品 毘沙門天像 1幅  
大元帥明王・四天王図像 1巻
- ・「美の宴 - 東洋の古美術、印象派と古地図が織り成す珠玉の世界」展  
2012年10月14日(日)～12月2日(日)  
和泉市久保惣記念美術館  
重要文化財 竹雀図 伝 牧谿筆 1幅  
中尾唐津茶碗 銘 福寿草 1口
- ・「天下第一、翡色青磁展」 2012年10月15日(月)～12月16日(日)  
韓国・国立中央博物館  
重要文化財 青磁蓮唐草文水瓶 1口
- ・「不昧公の大名茶」展 2012年10月20日(土)～11月25日(日)  
出雲文化伝承館  
青磁尊形花生 銘 夕端山 1口  
伊賀耳付花生 銘 寿老人 1口  
志野茶碗 1口  
萩茶碗 銘 大名 1口  
出雲焼茶碗 銘 小舟 1口  
唐津落穂手写茶入 1口

	楽山綴目水指	1口
・「円山応挙展」	2013年3月1日(金)～4月14日(日)	
愛知県美術館	重要文化財 藤花図 円山応挙筆	6曲1双
・「尾形周平」展	2013年3月9日(土)～5月26日(日)	
兵庫陶芸美術館	草花文煎茶碗 尾形周平作	5客
・「狩野山楽・山雪」展	2013年3月30日(土)～5月12日(日)	
京都国立博物館	藤原惺窩閑居図 狩野山雪筆	1幅
	梟に鶏図 狩野山雪筆	2幅
	秋景山水図 狩野山雪筆	1幅
	計	14館 35件

(14) 画像の貸出

当年度は、218件の申請を受け、581点の画像を館外の刊行物や研究者に提供した。

(15) 施設の貸与

以下の講演会・茶会等に講堂・茶室等の施設を貸与し、催事への協力を行った。

・講演会(講堂)

[平成24年]

5月11日(金)	浮萍会	勉強会	利用者	20名
6月13日(水)	日本陶磁協会	講演会		120名
6月24日(日)	日本工芸会東日本支部	総会・研究会		80名
7月8日(土)	日本アジア協会	講演会		80名
7月28日(土)	BCJA	学会総会		30名
9月26日(木)	日本工芸会東日本支部	神奈川研究会総会・研究会		30名
9月28日(金)	日本陶磁協会	講演会		120名
10月12日(日)	浮萍会	勉強会		20名
11月2日(金)	ポータランド日本庭園	会議		10名
11月11日(日)	日本根付研究会	例会・講演会		45名
11月17日(土)	漆工史学会	総会・研究発表会		60名
12月7日(金)	日本陶磁協会	講演会		120名

[平成25年]

2月7日(土)	慶応義塾大学	慶応義塾大学短期日本学講座		34名
2月8日(金)	大師会	講演会		150名
2月26日(火)	日本工芸会東日本支部諸工芸部会	研究会		40名
3月6日(水)	岐阜女子大学	博物館学芸員履修者研修		39名
3月16日(土)	奈良県	NARASIAセミナー第3講		45名
3月19日(火)	日本陶磁協会	講演会		120名

・茶会(茶室、講堂)

[平成24年]

4月4日(水)、5日(木)、6日(金)	大師会			885名
4月8日(日)	四友会			236名
6月2日(土)	上田宗箇流東京遠鐘クラブ	新緑茶会		125名



6月17日(日)	学習院大学茶道部	110名
7月4日(水)	日本陶磁協会茶会	482名
7月21日(日)	宗徧流関東地区	329名
11月3日(土)	慶應茶道会 全慶應茶会	222名
11月4日(日)	洛水会	375名
11月17日(土)	みずほプレミアムクラブ秋の茶会	74名
11月18日(日)	大日本茶道協会	191名
[平成25年]		
3月24日(日)	若葉会	342名
3月31日(日)	松園会	353名

・特別観覧(ホール、展示室、カフェ、庭園)

[平成24年]

10月11日(木)	日本政策投資銀行 レセプション
10月23日(火)	カズ・フグラール An Elegant Cultural Bridge

## II 収益事業

### 【事業の概要】

#### 1. 不動産事業

日本殖産興業株式会社と持分割合二分の一で建築した「青山サンライトビル」を建物の当館持分を貸店舗として日本殖産興業株式会社に賃貸し、管理は日本殖産に業務委託。他に、サンライトビル日本殖産持分の地代、駐車場の賃料、NTTドコモの移動通信設備設置料等の収入があった。

### Ⅲ 庶務の概要

#### 1. 役員

平成 25 年 3 月 31 日現在

役職名	勤務	氏名	就任年月日 (初就任年月日)	職歴		
				現職名	最終公務員暦・同一業界 関係歴	退職年月日
理事長	非常勤	根津 公一	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	株式会社東武百貨店 代表取締役社長	学校教育	なし
常務 理事	非常勤	矢野 恵一	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	株式会社東武百貨店 取締役	なし	〃
理事	非常勤	安田 弘	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	安田不動産株式会社 顧問	なし	〃
〃	非常勤	河合 正朝	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	千葉市美術館 館長	美術館	〃
〃	非常勤	島尾 新	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	学習院大学 教授	学校教育	〃
〃	非常勤	潮田 洋一郎	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	株式会社住生活グループ 取締役代表執行役会長	なし	〃
〃	常勤	西田 宏子	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人根津美術館 副館長兼広報課長	なし	〃
〃	常勤	波多野 定治	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人根津美術館 管理部長	なし	〃
		8 名				
監事	非常勤	瀬戸 雄三	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	学校法人慶應義塾 評議員	学校教育	なし
〃	非常勤	後藤 康雄	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	はごろもフーズ株式会社 代表取締役会長	なし	〃
		2 名				
評議員	非常勤	小林 喬	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	富国生命保険相互会社 相談役	保険業	なし
〃	非常勤	正田 修	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	㈱日清製粉グループ本社 名誉会長相談役	なし	〃
〃	非常勤	根津 嘉澄	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	東武鉄道株式会社 取締役社長	鉄道業	〃
〃	非常勤	長谷部 楽爾	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人出光美術館 理事	美術館	〃
〃	非常勤	秋山 智史	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	富国生命保険相互会社 取締役会長	保険業	〃

〃	非常勤	堀内 光一郎	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	富士急行株式会社 代表取締役社長	鉄道業	〃
〃	非常勤	望月 朗宏	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	日清紡ホールディングス 株式会社 顧問	なし	〃
〃	非常勤	安田 正	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人根津美術館 評議員	〃	〃
〃	非常勤	有馬 朗人	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	静岡文化芸術大学 理事長	東京大学総長 ・学校教育	平成 5 年 3 月 31 日
〃	非常勤	田村 妙子	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人山種美術財団 理事長	美術館	なし
〃	非常勤	徳川 義崇	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人徳川黎明会 会長	美術館	〃
〃	非常勤	根津 后方子	平成 24 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	公益財団法人根津美術館 評議員	なし	〃
		12 名				

## 2. 職員

平成 25 年 3 月 31 日現在

職 名	氏 名	就職年月日	担当事務
館 長	根 津 公 一	平成 12 年 1 月 4 日	総 括
副館長兼広報課長	西 田 宏 子	昭和 56 年 4 月 1 日	工芸史・学芸部総括
学 芸 部 長	松 原 茂	平成 20 年 10 月 1 日	日本書画史・学芸部総括
学 芸 第 一 課 長	白 原 由起子	平成 20 年 10 月 1 日	仏教美術史
学 芸 第 二 課 長	野 口 剛	平成 20 年 10 月 1 日	近世絵画史・情報管理
学 芸 部	多比羅 菜美子	平成 15 年 5 月 1 日	漆工史・保存環境
学 芸 部	吉 岡 明 美	平成 21 年 4 月 1 日	染織史・茶会関連
学 芸 部	福 島 洋 子	平成 21 年 4 月 1 日	墨蹟・学芸庶務・図書管理
学 芸 部	荒 川 麻 美 子	平成 21 年 4 月 1 日	画像管理・商品開発
学 芸 部	所 純 子	平成 24 年 12 月 1 日	広 報
学 芸 部	村 岡 香代子	平成 25 年 1 月 1 日	広 報
管 理 部 長	波多野 定 治	平成 19 年 7 月 1 日	管 理 部 総 括
管 理 部 次 長	鈴 木 康 生	平成 13 年 4 月 11 日	顧 客 サ ー ビ ス
管 理 部	高 室 修	昭和 50 年 3 月 1 日	建 物 ・ 庭 園 管 理
管 理 部	田 中 智 子	平成 2 年 9 月 1 日	庶 務 ・ 出 納
管 理 部	宇田川 真紀雄	平成 12 年 4 月 1 日	会 計 ・ 茶 会
管 理 部	松 井 麻 美	平成 21 年 4 月 1 日	商 品 管 理
管 理 部	淵 野 史 郎	平成 24 年 9 月 1 日	警 備
	18	他に臨時職員 27 名	

### 3. 役員会

#### (1) 理事会

開催日 平成 24 年 5 月 30 日 (水) 9 時 30 分～10 時 00 分

場 所 根津美術館 NEZUCAFÈ

#### 議事事項

- ① 平成 23 年度事業報告の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ② 平成 23 年度正味財産増減決算の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。

#### 報告事項

- ① 事務局より、KORIN 展について説明があった。

開催日 平成 23 年 7 月 27 日 (金) 16 時 00 分～17 時 00 分

場 所 根津美術館 NEZUCAFÈ

#### 議事事項

- ① 根津倶楽部規則改定の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ② 保有株式に係る議決権行使の件  
質疑応答を経て審議の結果、本年度の株式会社日清製粉グループ本社、北海道電力株式会社、東武鉄道株式会社、三井トラスト・ホールディングスの議決権行使についてはこれを追認し、今後の日本殖産興業株式会社、アサヒグループホールディングス、株式会社日清製粉グループ本社、北海道電力株式会社、東武鉄道株式会社、三井トラスト・ホールディングスの株主総会における議決権行使については、事前に理事からの異議がない限り、今後全て「会社提案に賛成する」旨の議決権行使をすることを承認可決された。

#### 報告事項

- ① 館長より、日本政策投資銀行関係者の特別観覧及びレセプション開催について説明があった。
- ② 副館長より、平成 25 年度の展覧会スケジュールについて説明があった。

開催日 平成 23 年 11 月 30 日 (金) 10 時 00 分～11 時 00 分

場 所 根津美術館 講堂

#### 議事事項

- ① 学芸部組織改編の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ② 常務理事選任の件  
質疑応答を経て審議の結果、矢野理事を常務理事に選任された。

#### 報告事項

- ① 理事長より、根津理事長の業務の執行状況について報告があった。
- ② 理事長より、安田常務理事の業務の執行状況について報告があった。
- ③ 副館長より、平成 25 年度の展覧会スケジュールについて説明があった。

- ④ 理事長より、日本政策投資銀行関係者の特別観覧及びレセプション開催について報告があった。
- ⑤ 理事長より、フグラール和氏のスイス友好・震災復興チャリティーショー開催について報告があった。
- ⑥ 理事長より、平成 25 年の理事会、評議員会の予定について報告があった。
- ⑦ 理事長より、日本政策投資銀行関係者の特別観覧及びレセプション開催について報告があった。
- ⑧ 河合理事より、組織の意思決定プロセスについて質問があり、意見交換された。

開催日 平成 25 年 3 月 1 日（金） 10 時 10 分～11 時 00 分

場 所 根津美術館 講堂

#### 議事事項

- ① 平成 24 年度事業計画の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ② 平成 24 年度正味財産増減予算の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ③ 根津美術館を「研究機関」とする文部科学大臣の指定を受けるための申請の件  
質疑応答を経て審議の結果、根津美術館を「研究機関」とする文部科学大臣の指定を受けるための申請を行うことについて、原案通り承認可決された。
- ④ 卯里欣侍氏よりの美術品寄贈受託の件  
質疑応答を経て審議の結果、卯里欣侍氏よりの寄贈美術品を受け入れることを、承認可決された。

#### 報告事項

- ① 理事長より、根津理事長の業務の執行状況について報告があった。
- ② 矢野常務理事より、矢野常務理事の業務の執行状況について報告があった。
- ③ 松原部長より、展示検討会について報告があった。
- ④ 河合理事より、昨今、韓国、中国が美術品の所有権を主張している問題について、美術館がどのような対策を講じているか質問があり、意見交換された。

## (2) 評議員会

開催日 平成 24 年 5 月 30 日（水） 10 時 00 分～10 時 30 分

場 所 根津美術館 講堂

#### 議事事項

- ③ 平成 23 年度事業報告の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ④ 平成 23 年度正味財産増減決算の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。

#### 報告事項

- ② 事務局より、KORIN 展について説明があった。

開催日 平成 25 年 3 月 15 日（金） 15 時 00 分～16 時 00 分

場 所 根津美術館 講堂

#### 議事事項

- ① 平成 24 年度事業計画の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ② 平成 24 年度正味財産増減予算の件  
質疑応答を経て審議の結果、原案通り承認可決された。
- ③ 根津美術館を「研究機関」とする文部科学大臣の指定を受けるための申請の件  
質疑応答を経て審議の結果、根津美術館を「研究機関」とする文部科学大臣の指定を受けるための申請を行うことについて、原案通り承認可決された。
- ④ 卯里欣侍氏よりの美術品寄贈受託の件  
質疑応答を経て審議の結果、卯里欣侍氏よりの寄贈美術品を受け入れることを、承認可決された。

#### 報告事項

- ① 理事長より、根津理事長の業務の執行状況について報告があった。
- ② 矢野常務理事より、矢野常務理事の業務の執行状況について報告があった。
- ③ 副館長より、展示検討会について報告があった。